2023.11.06

Asia Week 各国でのPHC活動とポータブル医療センサーの挑戦について

【参加施設】

九州大学 伊都キャンパス (日本), グラミン・コミュニーションズ (バングラデシュ), マレーシアサバ大学 (マレーシア), 中国疾病予防管理センター (中国),

アジア工科大学院 (タイ), ガジャ・マダ大学 (インドネシア)

【概要】

本ウェビナーでは、インドネシア、マレーシア、タイ、バングラディッシュ、中国、日本でのPHC(アウトリーチ健診)活動で使用されているポータブル測定器(血糖値、ヘモグロビン値、尿酸値、コレステロール値)の精度を比較した研究結果の報告と、各国のPHC活動のチャレンジについて学んだ。今後は精度結果をもとに、各国のPHC活動において適切な測定器を選択、使用していくことで同意した。



モニタに表示される接続施設

撮影場所:九州大学病院



発表するProf. Lasimbang

撮影場所:九州大学病院

Proportional mortality ○ ② 23 % ③ 19 % NCDs are estimated to account for T70% of all deaths. ③ 24 % ③ 14 % Cancers Communicable maternal Chronic respiratory disease № 10 % Injuries Introduced and France Pothle (Sast 130/Thalaad

提示されたスライド

撮影場所:九州大学病院



提示されたスライド

撮影場所:九州大学病院

PHC for Maternal and Child Health in Bangladesh

Implementation site

 Chhayagaon Union (15,000 population) in Shariatpur District, Bangladesh

Phase 1

Baseline: June-July 2019, Endline: May 2022

Phase 2

Baseline: June-July 2022, Endline: May 2025



提示されたスライド

撮影場所:九州大学病院



九州大学病院の様子

撮影場所:九州大学病院